

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	ゼミナールⅣ（Seminar Ⅳ） 264046-14000					担当教員	広田 秀樹 （ヒロタ ヒデキ）		
科目区分	ゼミナール科目	必修・ 選択区分	必修	単位数	2	配当年次	4年次	開講期	通年
科目特性	地域志向科目 / 学生参加型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>グラスルーツグローバル化という地域活性化プログラムに取り組む。具体的には、第1に地域の外国人の方等をゼミに招待し意見交換を行う。第2に外国人の方等が集まる場を訪問し活発な交流を深める。第3に上記活動等を切っ掛けに、知的学習を深化させ知見・視野を拡大する。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
<p>地域社会に貢献する姿勢 / 職業人として通用する能力 / 専門的知識・技能を活用する能力 / コミュニケーション能力 / 情報収集・分析力</p>									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>ゼミの「グラスルーツグローバル化・地域活性化プログラム」の10年以上の伝統から概略を理解した上で、学生自身がチームを組み大胆かつ自主的に新しい企画で、進めること。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
地域経済論									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) グローバル化と地域の関係を理解できること。 (ii) グローバルな知見・視野を拡大すること。 (iii) グローバル化のファクターを地域発展に取り込む戦略を提言できること。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
学習資料を配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>スティーブン・カースルズ、マーク・J・ミラー（関根政美・関根薫訳）（2011）『国際移民の時代』名古屋大学出版会</p>									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			10%	25%	40%	25%		100%
(i) グローバル化と地域の 関係の理解			10%		10%	10%		30%
(ii) グローバル関連知見・				10%	20%	10%		40%

視野拡大								
(iii) 地域発展戦略の提言				15%	10%	5%		30%
フィードバックの方法	レポート等に助言をつけ討論資料として紹介する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）	
人口構造の激変を中心要因に地域は生き残り、勝ち残りを迫られている。若者特有の固定観念、通説を打ち破るエネルギー、潜在力を引き出すようなゼミを、引き続きつくって行きたい。	

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	イントロダクション・ブレインストーミング		ブレインストーミングの内容に関するレポート	120分
2	グラスルーツグローバリゼーションとは何か	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
3	宇宙史的スケール、人類史的スケールの視点	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
4	ゼミへの招待活動Ⅰ	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
5	ゼミへの招待活動Ⅱ	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
6	ゼミへの招待活動Ⅲ	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
7	ゼミへの招待活動Ⅳ	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
8	招待活動の振り返り	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
9	地域での交流活動Ⅰ	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
10	地域での交流活動Ⅱ	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
11	地域での交流活動Ⅲ	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
12	地域での交流活動Ⅳ	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分
13	交流活動の振り返り	配布参考資料・課題資料	関連考察レポート	120分

14	中間レビューの準備	配布参考資料・ 課題資料	関連考察レポート	120分
15	中間レビュー	配布参考資料・ 課題資料	関連考察レポート	180分
16	中間レビューの振り返り	配布参考資料・ 課題資料	関連考察レポート	120分
17	Learning by Stimulation of Globalization (LSG) とは何か	配布学習資料・ 課題資料	自学自習課題の設定に関するレポート	120分
18	LSGによる学習と発表Ⅰ	配布学習資料・ 課題資料	自学自習課題関連レポート報告の準備作業	180分
19	LSGによる学習と発表Ⅱ	配布学習資料・ 課題資料	自学自習課題関連レポート報告の準備作業	180分
20	LSGによる学習と発表Ⅲ	配布学習資料・ 課題資料	自学自習課題関連レポート報告の準備作業	180分
21	LSGによる学習と発表Ⅳ	配布学習資料・ 課題資料	自学自習課題関連レポート報告の準備作業	180分
22	成果発表会準備Ⅰ	配布参考資料・ 課題資料	自学自習関連レポートとグランドプレゼン関係性考察のレポート	120分
23	成果発表会準備Ⅱ	配布参考資料・ 課題資料	グランドプレゼン・コンテンツ準備	180分
24	成果発表会準備Ⅲ	配布参考資料・ 課題資料	グランドプレゼン・コンテンツ準備	180分
25	成果発表会の振り返り	配布参考資料・ 課題資料	グランドプレゼン実行に関する考察レポート	120分
26	報告書作成分担	配布参考資料・ 課題資料	自学自習関連レポートと報告書関係性考察のレポート	120分
27	報告書作成作業Ⅰ	配布参考資料・ 課題資料	報告書分担部分作成	180分
28	報告書作成作業Ⅱ	配布参考資料・ 課題資料	報告書分担部分作成	180分
29	報告書作成作業Ⅲ	配布参考資料・ 課題資料	報告書分担部分作成	180分
30	まとめ	配布参考資料・ 課題資料	自分の総合的レベルアップの考察に関するレポート	120分

⑪ アクティブラーニングについて

学生参加型ALを採用する。「指示待ち」ではなく、学生がチームを編成した上で、自主的に課題を考察し、具体的な戦略、戦術を計画し、実行するスタイルを徹底する。

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性